

パンデミック。世界的大流行だという。世界保健機関(WHO)が、新型インフルエンザの警戒レベルをパンデミックの水準に引き上げた。「香港風邪」以来41年ぶり。米国では、これまでの感染者が推計で100万人を超え、冬に入った南半球はチリ、アルゼンチン、豪州などで感染が拡大中。日本も秋以降の第2波に備えて警戒を怠れない。

トルコ西海岸のエフェソスの遺跡を訪ねたことがある。ローマ帝国時代の円形劇場や図書館、公衆浴場などの遺構がよく残っている。港湾都市として栄えたが、船で着いた人は必ず、港に付属する浴場でひと風呂浴びてから市内に入った、という説明を聞いた。船旅の疲れをいやすだけでなく疫病を防ぐ意図もあったのだろう。「バクスのローマナ(ローマの平和)」で、地中海世界が一体になり、人やモノがひんぱんに行き交った。「アントニヌスの疫病」など、時の皇帝の名を冠した感染症の記録が残る。

時代は下り、イタリアの海洋都市国家ベネチアはペスト流行地からの船と乗員を離れた場所に係留・隔離した。その期間「40日」を意味するイタリア語が転じ英語の「QUARANTINE」になった。

パンデミックの歴史学

本社コラムニスト 土谷 英夫

核心

「黒死病」と恐れられたペストは1347年から3年ほどの間に、全ヨーロッパの人口の約3分の1の命を奪ったとされる。流行は繰り返され、欧州は土地が余り、労働力が不足した。社会経済の構造ががらりと変わり、黒死病が「中世」にとどめを刺した。

カナダ生まれの歴史家、ウィリアム・マクニールは著書「疫病と世界史」で、黒死病パンデミックを13世紀に中国から中央アジアの一角に伝播したモンゴル帝国のぼつ興に結びつけている。「モンゴルの平和」でユーラシア中央部の治安が保たれ、中国(元)と欧州を結ぶ通商路が開かれた。隊商の通り道をたどって、中国で始まった流行が欧州に及んだという。

1492年のコロンブスの航海で始まった欧州と南北アメリカの文明の遭遇も悲劇をもたらした。欧州が

ら持ち込まれた天然痘などで、免疫のない新大陸の住民の大半が死んだ。コルテス率いる少数のスペイン部隊がアステカ帝国を征服したが、マクニールは「もし天然痘があつたとき突発しなかったならば、コルテスの勝利はもっと困難、いや不可能だったろう」と書いている。ピサロがやすやすとインカ帝国を倒したのも同じという。パンデミックが歴史を変えた。

日本はどうだろう。「人から読む日本の歴史」の著者の鬼頭宏上智大教授によれば、縄文時代の人口は中期がピークで、後期は東日本中心に激減した。気候の寒冷化が主因とみられるが、大陸から新しい文化を

携え渡ってきた人たちが縄文人に免疫のない感染症を持ち込み人口を減らした、との仮説もあるという。

稲作の普及で弥生時代から人口は増加したが、八世紀ごろから人口成長にブレーキがかかる。一因にあがるのが奈良時代の天平年間大陸から入った天然痘。黒死病並みの被害だったとみる研究者もいる。

鎖国していた江戸時代でも「インフルエンザとコレラは世界の流行と連動していた」(鬼頭教授)。例えば1822年(文政5年)に初めて日本に入ったコレラは、5年前にインドのベングール地方から始まった世界的流行の余波だった。

過去100年で最悪のパンデミックは「スペインかぜ」(インフルエンザ)だ。1918年から翌年にか

今回の新型インフルエンザは感染力が強く発生地のメキシコからまたたく間に世界に広まった。多くの感染者は軽症で済むが、糖尿、ぜんそくなどの疾患のある人や妊婦は重症化する恐れがある。海外では若い人の重症例も少なくない。病原性(毒性)は通常の季節性インフルエンザとそう変わらないが、ウイルスが強毒性に変異する可能性もある。

グローバル化の苦い代償



写真は上からカイロ、クアラルンプール、ブエノスアイレス(いずれもAP)

け、当時の世界人口の3人に1人の6億人が感染し4000万人以上が死んだ。日本の死者は最新の推計では48万人。第1次世界大戦と重なり、交戦国は情報を隠し、軍隊の移動が感染を広がたとされる。

政府の新型インフルエンザ対策本部専門家諮問委員会の尾身茂委員長(元WHO西太平洋事務局長)は「SARS(重症急性呼吸器症候群)、鳥インフルエンザを経験した国際社会は新型インフルエンザ出現に備えずと準備してきた。これほど準備したのは人類の感染症史上初めて」という。

医学の進歩でウイルスが素早く検出され、ワクチンの開発も進む。感染情報も速く伝わる。だが一方で年間、何億人も人が国境を越えて空の旅をするグローバル化の時代でもある。

インフルエンザに限らない。世界では年1つの割合で新しい感染症(大半が人獣共通感染症)が出現している。「医学の進歩にもかかわらず、感染症の世界的流行の頻度が高まるとみるのが常識」(尾身委員長)という。パンデミックとの長い闘いが続く。